

## 平成 19 年度学術ポータル担当者研修レポート

鹿児島大学学術情報部情報管理課学術コンテンツ係	上籠 祐介(受講者番号：9-1)
鹿児島大学学術情報部情報管理課桜ヶ丘分館管理係	木原 由香理(受講者番号：9-2)
鹿児島大学学術情報部情報サービス課水産学部分館図書係	堀 敏郎(受講者番号：9-3)

### (1) 発表資料の状況設定

鹿児島大学では機関リポジトリを公開してから間もなく、教員にあまり浸透しているとは言えない。そこで文系学部の教授会の前に時間をもらい、機関リポジトリについてあまり知識のない教員に対して概要の説明を行い、コンテンツの提供を呼びかける。

### (2) 発表内容抄録と研修当日の講師からの助言、及び研修発表との改訂部分

#### 発表内容抄録

機関リポジトリとはなにか、研究者・大学にとってのメリットを説明し、鹿児島大学機関リポジトリの紹介と登録方法等について述べた後、コンテンツの提供をお願いする。

#### 講師からの助言及び研修発表との改訂部分

著作権のありか(出版社・本人)についてよく分からないとの指摘を受け、8枚目を差し替えた。

HP から探しにくいとの指摘があり、図書館 HP のリニューアルに伴いトップページからリンクを貼った。

### (3) リハプレゼンの概要

日時：平成 19 年 11 月 13 日(火) 17 時 00 分～17 時 30 分

場所：鹿児島大学附属図書館中央図書館

発表者：堀

発表対象：附属図書館職員

参加人数：10 名

(4) リハプレゼンへの反響

全体的に分かりやすいと思うが、論文を提供する際に何をどうすればいいのかが分かりにくい。  
大学のメリットについての説明は論文を提供する一般の先生には関心はない。ただ学部長等、大学運営側にはアピールできる。

(5) その他（備考、今後の予定と希望）

現時点での登録コンテンツの大半が紀要であるため、今後は雑誌掲載論文を増やしていきたい。